

最近では、お世話あそびをする姿が見られるようになりましました。好きな布を取り布を横に広げ、人形にかけています。布がきれいに広がると嬉しそうです。保育者が「ネンネンネヤマノ～」とわらべうたを口ずさむと人形を寝かし始めています。



友だちが寝転んでいると手を差し伸べ、トントンしています。友だちとの関わりも見られるようになりましました。



人形に布やミルクを飲ませたり、寝かせたり、お出かけしたり…
日頃、お母さんやお父さんにしてもらったことを目で見えて覚え、次第に子どもたちの遊びへ繋がっていきます。
子どもたちは、大人のしぐさや言葉など、よく見えています。
日々の発見を大切しながら子どもたちと楽しく関わっていきたいと思います。



人形を抱っこしたい椅子に座らせたいと一人ひとりで違ったお世話あそびがあります。

